



「赤谷の森」を体感するNACS-J会員ツアー 2008

開 催 要 項

「赤谷の森」は、1990年代には、会員の皆様のご支援により、大規模開発に対する自然保護活動が展開されてきた1万ヘクタールの森。2003年からは、生物多様性復元と持続的な地域社会づくりをテーマに、地域住民・林野行政・NACS-Jの協働による「AKAYAプロジェクト」が進んでいます。

NACS-Jの活動を支援して下さる会員の皆様に、AKAYAプロジェクトで行われている生物多様性保全活動の一部をご紹介します。NACS-Jへのご支援の成果を実感したい方、自然保護の現場を体感したい方、AKAYAプロジェクトへの参加を検討されている方のご参加をお待ちしています。

季節は晩秋、山の紅葉や温泉など、自然からの恵みもご堪能ください。

行 程

集合 11月1日(土) 9時40分 上越新幹線 「上毛高原駅」改札口
(東京駅から 8:04発「Maxたにがわ403号」→9:22着)
(新潟駅から 7:57発「Maxとき310号」
→8:48 越後湯沢駅着(乗り換え)
9:22 同駅発「たにがわ404号」→9:35着)

解散 11月2日(日) 16時00分 上越新幹線 「上毛高原駅」解散
(東京方面 16:19発「Maxたにがわ418号」)
(新潟方面 16:11発「Maxたにがわ417号」)

参加費

おひとり様 10,500円(宿泊費・保険料込み)
(集合場所への交通費は含みません)
(参加費は当日、受付の際にお支払いください)

募集人数

20名(募集人数を超えた場合は、抽選とさせていただきます)

宿 泊

猿ヶ京三国温泉郷 湯宿温泉 金田屋旅館

〒379-1409 群馬県利根郡みなかみ町湯宿温泉 608

電話 0278-64-0606 / FAX 0278-64-0653

<http://www.yujuku-kanetaya.com/>

赤谷川流域に位置する、赤谷プロジェクト地域協議会会員の宿です。

NACS-J「ネイチャー・イン」です。

恐れ入りますが、相部屋となる可能性があることをご了承ください。

持ち物

野外で活動できる装備と服装（長袖・長ズボン、歩きやすい靴〔長靴可〕、帽子、雨具、ザック、水筒、双眼鏡等の観察用具）

11月上旬の「赤谷の森」は、最奥の山では冠雪が見られます。秋とはいえ、日によっては気温が下がりますので、ご注意ください。

プログラム（茂倉沢・治山ダム撤去による溪流環境復元の事業予定地を体験する）では、溪流を歩きます。履きなれた野外活動用長靴をお持ちの方はご持参ください（宿へ宅配便利用可）。長靴をお持ちでない方には、貸し出しが可能です（お申込の際に備考欄にご記入ください）。

初日の昼食（2日目の昼食は宿のお弁当を用意します）

お申込方法

別紙の申込書にご記入の上、FAXまたは郵送にて下記までお申込ください。

電子メールにてお申込の場合には、参加申込書の項目に沿ってメールをご送信ください。

お申込 締切 10月24日（金）

ご参加の確定はお申込締切から3日以内に、電子メールまたはお電話にてご連絡させていただきます。

お申込先 / お問い合わせ先

日本自然保護協会 保護プロジェクト部 担当 藤田卓・茅野恒秀・出島誠一

〒104-0033 東京都中央区新川 1-16-10 ミトヨビル 2F

電話 03-3553-4107 / FAX 03-3553-0139

Mail akaya@nacsj.or.jp

プログラム（予定）

全行程、NACS-J・AKAYA プロジェクト担当スタッフがご案内・解説をいたします。

11月1日（土）

9：40 集合・受付・マイクロバスで宿へ移動

10：10 宿に荷物をおき、フィールドワークの準備（着替え・装備準備等）をして旧三国街道エリアへ

11：15～16：00 プログラム （約4.5時間）

【プログラム 旧三国街道フットパス網の森を歩く】

「赤谷の森」に残る三国街道（江戸と越後を結ぶ幹線道）の旧道は、現在は上信越高原国立公園の一部であり、森林に囲まれた散策路になっています。

AKAYAプロジェクトでは、人の暮らしや歴史とのかかわりが深いこの旧街道エリアで、かつての植生景観の復元とともに、宿場や関所のあった猿ヶ京・永井地区から新潟県境の三国峠までの本線・支線をフットパス（遊歩道）に設定し、地域環境管理に役立つ旧街道の活用方法のモデルを構築する事業を進めています。

約7kmの旧街道本線では、ブナの自然林からスギ・カラマツの人工林まで、「赤谷の森」の概略や全体の雰囲気をお掴みいただけます。

16：30 宿へ戻り、夕食まで休憩

18：00 夕食

19：00～20：00 広間でプログラム （約1時間）

【プログラム AKAYA プロジェクト概要・成果紹介】

多くの会員の皆様のご支援によって行われた、1990年代からの「赤谷の森」におけるNACS-Jのこれまでの活動を振り返りつつ、AKAYAプロジェクトのねらい・枠組・特徴・これまでの成果・会員参加プログラム等をご紹介します。地元で活動を支える「赤谷プロジェクト地域協議会」のメンバーにも集まっていただく予定です。

20：00～ 懇談・懇親会（有志参加）

11月2日（日）

8：00 朝食

準備（着替え・装備準備等）をして赤谷川上流域へ

9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0 プログラム (約3時間)

【プログラム

選択制：コース1 人工林を自然林へ修復する現場を体験する

コース2 治山ダム撤去による溪流環境修復計画地を体験する

(コース1)

1万ヘクタールの「赤谷の森」の約3割がスギ・カラマツなどの人工林です。AKAYA プロジェクトでは、これらの人工林のうち、エリアの特性から、将来は自然林であるべきエリアについては、人工林を自然林へ戻していく森林管理手法の開発を進めています。

小出俣(おいづまた)エリアでは、そのための試験地を設け、人工林を伐採し、自然の回復力による森林の変化を長期にモニタリングする体制を整備しています。現地では、自然林修復のため、昨年カラマツ林の伐採した現場をご覧ください。

(コース2)

AKAYA プロジェクトでは、森林生態系を構成する重要な環境である、溪流環境を修復する取り組みに着手しています。

クマタカの繁殖地の一つでもある茂倉沢(約3km)には、昭和20~30年代を中心に、本支流合わせて13機の治山ダムが建設されましたが、今後の治山事業では、防災と環境の両立を最終目標とし、既に機能を失っている複数の治山ダムを撤去し溪流の自然性を復元する方法の開発や、溪流環境の連続性を妨げない防災施設の技術開発を行っていきます。現地では、まず手はじめに撤去を予定している治山ダムを実際にご覧いただきます。

12 : 0 0 ~ 1 2 : 4 5 昼食休憩

13 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0 プログラム (約1時間半)

【プログラム 教育・研究活動拠点「いきもの村」を体験する】

AKAYA プロジェクトの様々な活動の拠点として整備が進む「いきもの村」の様子をご覧ください。当日はサポーターの研修活動である「赤谷の日」が行われています。サポーターとの交流も予定しています。

15 : 3 0 マイクロバスで上毛高原駅へ移動

16 : 0 0 上毛高原駅にて解散

FAX送付先 03-3553-0139
郵送 送付先 〒104-0033 東京都中央区新川 1-16-10 ミトヨビル 2F
日本自然保護協会 AKAYA プロジェクト

「赤谷の森」を体感するNACS-J会員ツアー 2008
参加申込書

申込日 年 月 日

ご氏名(フリガナ)：	性別 男 女
ご住所：〒	
電話番号：	緊急時：
電子メール：	
生年月日(保険加入時に必要です)	年 月 日(歳)
NACS-J会員番号：	(指導員番号：)
登山・野外活動のご経験をお聞かせください	
AKAYA プロジェクト及び今回のツアーに何を期待しますか？	
その他(ご夫婦でのご参加、お車でのご参加、等の特記事項はこちらへお書きください)	
プログラム のコース選択 コース1：人工林を自然林へ修復する コース2：治山ダム撤去	

お預かりする個人情報は、本ツアーのためにのみ使用し、第三者には開示しません